

RYOBI

水中ポンプ。

RSP-50M・RSP-150

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。



RSP-150



RSP-50M
(漏電保護プラグ付)

●ご使用に当たりますの注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

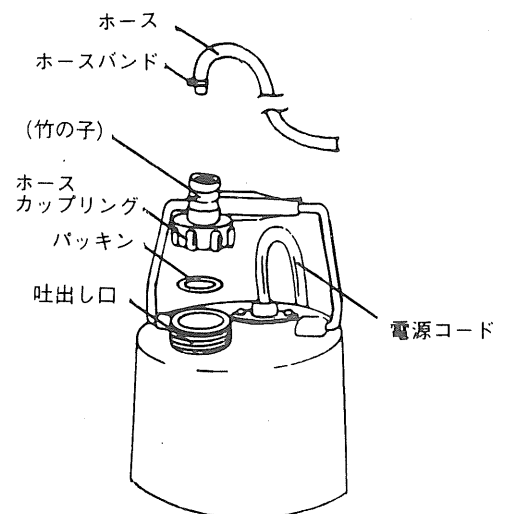
- ポンプには50Hz用と60Hz用の2種類がありますから、お買い求めのポンプがご使用地周波数に合っているか必ずお確かめ下さい。
又、輸送中の破損がないか、おしらべ下さい。
(静岡県・長野県・新潟県の周波数混在地区は特に注意して下さい。)
- まずご使用になる前にキャブタイヤコードを電源に接続し、異常の有無を確認して下さい。(気中運転5秒以内)
- 運転に先立ちキャブタイヤコードの緑線を接地して下さい。差し込みプラグ根元より出ている接地用クリップを御利用下さい。
- 作業の都合でキャブタイヤコードを延長して作業をしなければならない時は、ポンプに装備してあるものと同じ太さのものか、或いはそれより太いものをご使用下さい。延長して運転する前に正しい電圧※であるか否かを確認して下さい。(本線と延長線との接続部でテスター又は電圧計で計って下さい。又、接続部は絶対に水中につけないで下さい。)

※定格電圧の±10%以内のこと。

※吐出パイプ又はホースの吐出口は出来るだけ水面より離すか逆止弁を取付けるかして下さい。もし水面下に入りますとポンプが停止した時サイフォンの作用で逆流します。

●ポンプ運転のしかた

- まずポンプの吐出口、又はホースカップリングにホースを差し込みホースバンドで固定してください。ホースは市販のビニールホースで吐出口の径に合ったものをお選びください。ホースカップリングをポンプ吐出口に取付けるときは必ず同封のパッキンをお使いください。
(RSP-50Mを除く。)



- ポンプを吸水源に垂直に沈めます。完全に水中につけて運転してください。転倒することがありますのでご注意ください。
ホースの先端は吐出側水面より出しておいてください。
- 電源コードをコンセントに差し込めば直ちに揚水を開始します。

●仕様

(50/60Hz)

形式	呼び径 (mm)	全揚程 (m)	吐出量 (ℓ/min)	出力 (W)	定格電圧 (V)	定格消費電力 (W)	電源コード長さ (m)	重量 (kg)
RSP-50M	15	最高 4	最大 35	50	100	80/90	3.5 ※	2.8
RSP-150	32	5	75	150	100	305/301	4	5.7

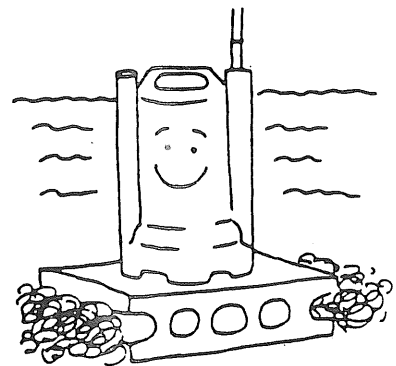
※RSP-50Mは電源コード先端に漏電保護プラグ付です。

●標準付属品

RSP-50M	RSP-150	
—	ホースカップリング	1組
—	ホースバンド	1個

●安全にご使用いただくためのご注意

- ポンプ運転前には必ず電源コード先端より出ているアース線(ミドリ線)を接地してください。
- ポンプの移動、据付けには必ず持手か持手にロープを結びつけてご使用ください。電源コードでポンプを吊り下げるとは絶対にしないでください。
- ポンプを空運転しないでください。メカニカルシールの摺動面が、焼きついてモーターが回らなくなることがあります。
- 浴槽や水槽・池など、水の溜めである所に人が入っている時には、絶対にポンプを入れしないでください。
- 泥沼やヘドロ・軟弱な土砂地にポンプを直接据付けて運転しますと、ポンプが沈下しポンプ内やホースに揚排物が詰まり運転ができなくなる場合があります。このような場合には、ポンプが沈下しないようにブロックや丸太などを敷いてポンプを据えつけてください。
- ポンプの外部は樹脂でできていますから、たたいたり、落したりしないでください。また火気などにも近づけないでください。
- 高温水(40℃以上)や、水以外の溶剤・薬品などには使用しないでください。



●漏電感知コンセント使用のお願い

ご家庭や養魚場で水中ポンプをご使用になる際の、漏電や感電事故を未然に防ぐため、漏電感知コンセント(別売)をご使用ください。(Mタイプを除く)

部品のご入用、故障の場合、その他取
扱い上ご不明な点があった場合には
ご遠慮なくお買い求めの販売店に、
お問い合わせ、ご相談ください。

※改良のため、お断りなく、製品仕様を変更する場合があります。

発売元

